



第105号



発行：西郷村企画開発課

印刷所：ワタベ印刷所

西郷村の人口及世帯数

(52. 3. 1 現在)

世帯数 2,703戸(-1)

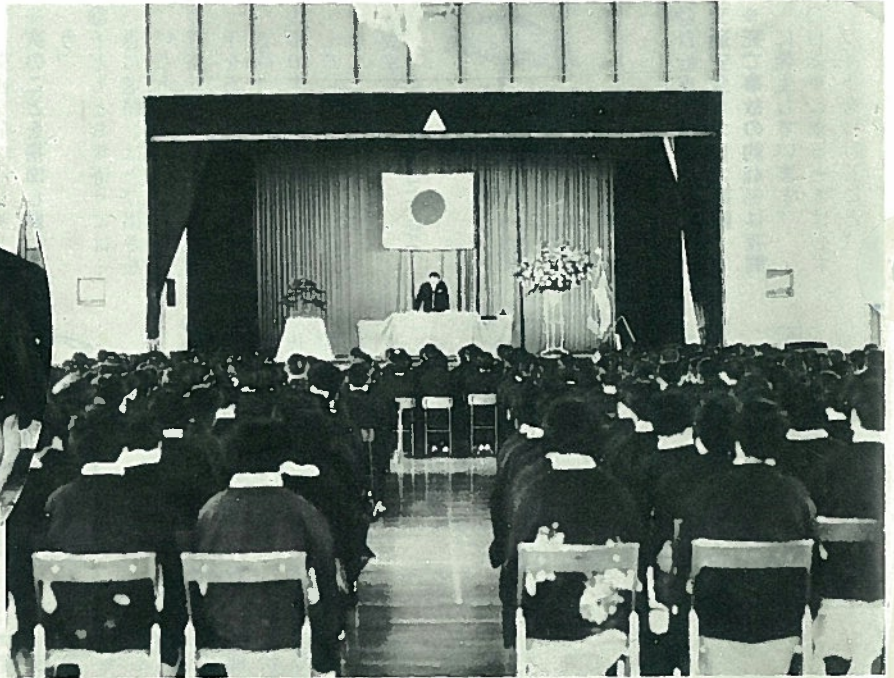
人口 11,921人(+15)

男 5,912人(+3)

女 6,009人(+12)



校長先生より一人一人卒業証書を受ける卒業生。



卒業おめでとう



成長した我が子の晴れ姿をみつめる父兄。



先生・在校生に見送られ学び舎を巣立って行く卒業生。

ゆっくり走ろう 福島県

春の全国交通安全運動 第三回村民総ぐるみ 交通安全運動

4月4日～4月15日

四月四日から十五日までの十二日間にわたり、子どもと老人を交通事故から守ろうとスローガンに、子ども（特に新入学児童、園児）と老人の事故防止、夜間の交通事故防止、シートベルト着用の推進を重点目標にかけ、県内一円において運動が展開されます。

お母さん出番です

▼家庭ではお母さんが交通安全のリーダー▲
※次のことを指導しましょう。

◎子どもとお年寄りには：急いで道路にはとび出さないこと。

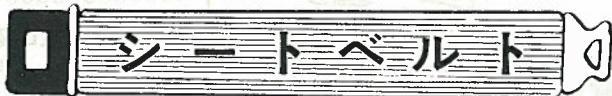
○道路を横断するときは、手をあげて車が止まるまで待つこと。

○車のすぐ前や後では横断しないこと。

安全とは
みんさんのこころ



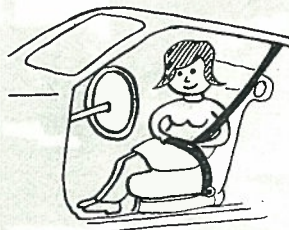
シートベルトをしめましょう



◎自転車に乗る人には：交通安全ピカピカ運動

※死亡事故の約48%は夜間に発生しています。

○自転車に乗るときは必ずライトをつけること。



○自転車には反射テープを貼ること。（役場にて無料提供）

○夜、歩くときは、明るい脂装をすること。また持ち物には反射材をつけて、ピカピカさせること。

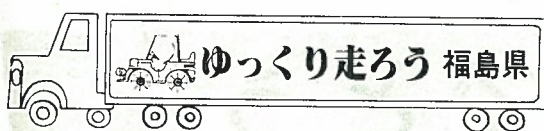
シートベルトをしめましょう。

▼シートベルト命綱▲
※時速90km以内なら死なずにすむ？

◎死亡事故（スエーデンの事例）
（シートベルトをしめていない場合）

時速96kmを越えてはじめて発生している。

シートベルトをしめていない場合）
時速19・2kmの遅い速度から発生している。



度から発生している。ゆっくり走ろう福島県全ドライバーが参加しよう。

◎ガソリンが節約できる。疲れが少なく、楽に運転できる。

◎事故や公害防止ができる。

◎ゆっくり走れば

▽ガソリンが節約できる

▽疲れが少なく、楽に運転できる。

▽事故や公害防止ができる。

◎忙しくても、制限速度の範囲内で、安全運転をしましょう。

○時間にゆとりをもち、交通状況に応じた安全な速度で運転しましょう。

国土調査実施 地域のお知らせ

昭和五十二年度国土調査事業は大字真船字蒲日向、字川谷、字芝原、字赤坂、字観音山、字山の神、字山神前、字葛石、字水貴、字籠山、字葎の目、字右石工門窪の十二字を実施する計画であります。これらの字に土地を所有されている方は、次の事務を済ませておきますと調査をスムーズに行うことができます。

①山林、原野などで雑木の密生している境界線は早目に刈り払いをして境界を明らかにしましょう。

②売買や譲渡などで、登記の済んでいないものは、直ちに手続きをしましょう。

※詳細については、後日関係地権者にお知らせいたします。

【役場国土調査係】

川柳・俳句

課題吟詠「玄閑」六郎選

人 玄閑で義理が押ししたり

押されたり 栄子

頼もうと声の出そうな

家構え 酒泉

天 親不孝敷居の高さ確かめる 昭子

課題吟詠「我慢」教恵選

人 民主主義我慢さすこと

おき忘れ 六郎

地 する我慢させる我慢を

共に泣き 京子

天 ここ我慢すれば未来へ

続く道 喜代子

回 甲子岳の雪を新たに春淺

し 一すじの灯りの中に雪し

まく 公一

回 検診車待つ間折吹雪き

けり 千代子

回 植込に雪解のたまる常德

寺 竜郵

回 雪解や園児の足の定まり

ぬ 京子

回 雪解の水雪山を照り返す

嶺の雪解けて兔となり

けり 周平

回 雪解水舗道斜に命あり

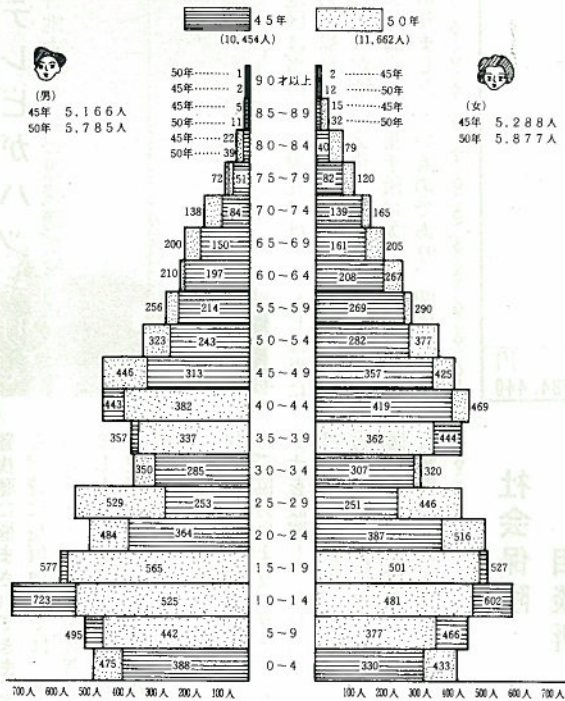
清二

回 句座まろし雪解の音ふく

桃晴

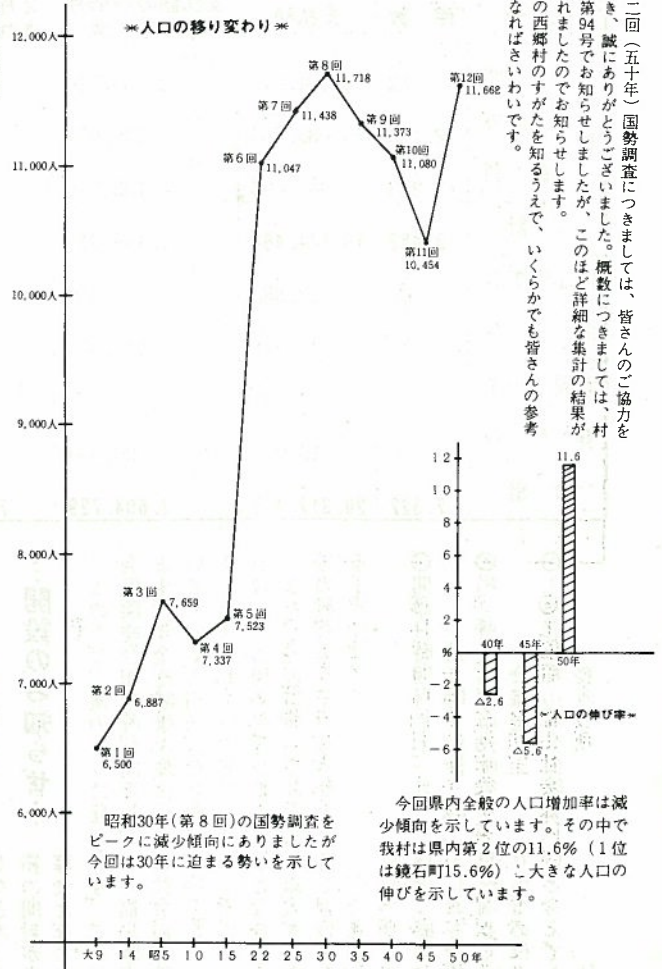
らみ来て

る村のすがた



一年令別人口

昭和45年と比較すると20代・40代以降の人口が著しく伸びていることがわかります。又、高令者の寿命がますます高くなっていることも伺えます。



第十二回(五十年)国勢調査につきましては、皆さんのご協力をいただき、誠にありがとうございました。概数につきましては、村だより第94号でお知らせしましたが、このほど詳細な集計の結果が発表されましたのでお知らせします。今後の西郷村のすがたを知るうえで、いくらかでも皆さんの参考資料になれば幸いです。

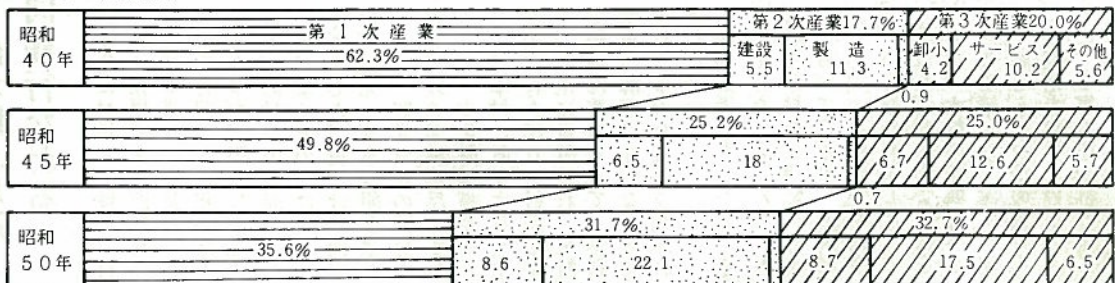
分類	年度別就業者数	昭和40年	昭和45年	昭和50年
第一次産業	農業	3,152人	2,643人	1,969人
	林業・狩猟業	53人	37人	29人
	漁業・水産養殖業	0人	16人	17人
第二次産業	鉱業	49人	40人	58人
	建設業	283人	353人	485人
	製造業	579人	973人	1,254人
第三次産業	卸売業・小売業	214人	364人	494人
	金融・保険業	51人	21人	26人
	不動産業		23人	45人
	運輸・通信業	206人	240人	265人
	電気・ガス・水道・熱供給業	34人	21人	26人
	サービス業	443人	552人	804人
	公務	81人	128人	187人
	分類不能の産業	1人	1人	10人
計		5,146人	5,412人	5,669人

労働力

この一〇年間に我村も高度成長の波から、第二次・第三次産業への就業者が目立って増えており、兼業農家の傾向へと進んでいます。

イ、産業別就業者数

口、就業者の構成比



国勢調査にみ

昭和50年
(総世帯)
2,541
世帯

昭和45年
(総世帯)
2,196
世帯

＝世帯の人員＝ (普通世帯のみ)

＝世帯の人員＝

昭和45年 (1世帯当り人員)

県平均………4.24人

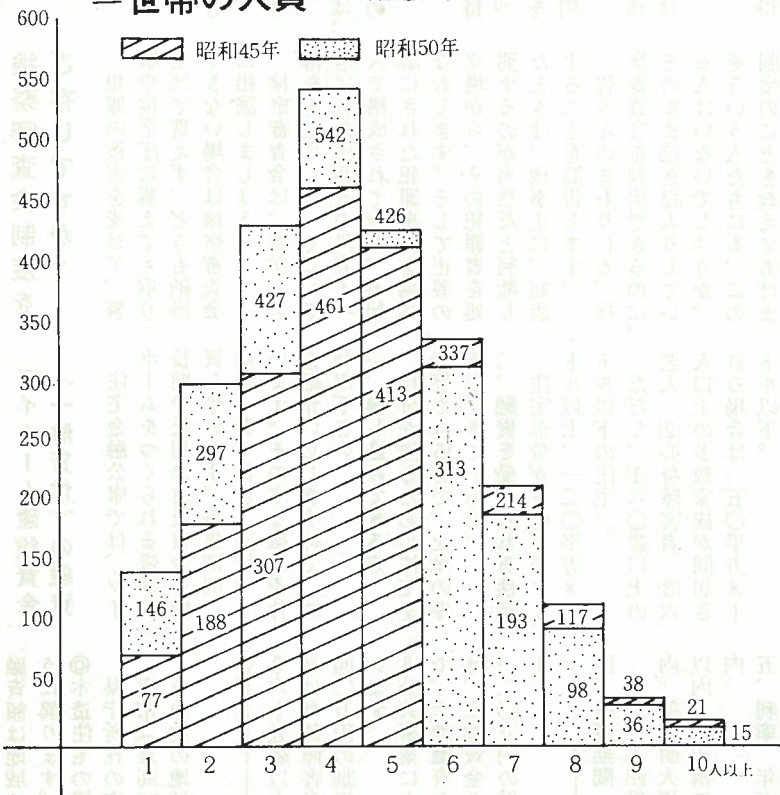
村平均………4.74人

に対し昭和50年は

県平均………3.91人

村平均………4.34人

と親子(990世帯)で生活している世帯がふえ、我村も年毎に核家族への傾向が強まっている。



＝住宅の人員等＝

項目	年	昭和45年	昭和50年
1世帯当り人員		4.74人	4.34人
1世帯当り室数		4.31室	5.08室
1室当り人員		1.10人	0.85人
1人当り畳数		5.6畳	7.2畳

各部落毎人口の増減を見ると下表のとおりであるが、太陽の国の施設のある芝原の510名を最高に、原中439名、下折口原153名、下新田124名と増加がみられ、北部は米、間の原を除きほとんどの部落で減少しています。

△

() は昭和45年国調 (△減)

部落名	世帯数	男	女	計	人口比較	部落名	世帯数	男	女	計	人口比較
長坂	(48) 47	(122) 115	(131) 132	(253) 247	△ 6	米・楢山	(37) 56	(88) 116	(77) 111	(165) 227	62
柏野 (含赤瀨)	(50) 54	(149) 143	(158) 146	(307) 289	△ 18	下新田	(197) 268	(197) 450	(385) 448	(774) 898	124
下羽太	(69) 77	(209) 217	(186) 196	(395) 413	18	上新田	(122) 146	(282) 305	(274) 294	(556) 599	43
上羽太 (含中久保)	(68) 69	(190) 182	(182) 182	(372) 364	△ 8	山下	(54) 54	(133) 123	(138) 144	(271) 267	△ 4
虫笠 真名子	(60) 60	(163) 147	(145) 126	(308) 273	△ 35	原中	(350) 458	(760) 952	(775) 1022	(1535) 1974	439
米	(145) 169	(316) 347	(368) 385	(684) 732	48	黒川	(116) 101	(297) 223	(304) 225	(601) 448	△ 153
熊倉	(113) 129	(276) 285	(295) 302	(571) 587	16	一の又	(95) 111	(216) 265	(209) 246	(425) 511	86
船生	(46) 44	(115) 113	(123) 113	(238) 226	△ 12	黒森	(26) 39	(54) 79	(50) 81	(104) 160	56
追原	(87) 96	(220) 222	(237) 233	(457) 455	△ 2	伯母沢	(48) 39	(108) 76	(105) 64	(213) 140	△
真船	(74) (75)	(208) 211	(223) 212	(431) 423	△ 8	芝原	(65) 60	(135) 394	(140) 391	(275) 785	510
上折口原	(99) 114	(217) 240	(255) 272	(472) 512	40	川谷	(114) 114	(249) 230	(232) 218	(481) 448	△ 33
下折口原	(89) 136	(214) 304	(227) 290	(441) 594	153	甲子	(24) 26	(59) 43	(66) 47	(125) 90	△ 35

税務署だより

土地や建物を売ったとき
土地や建物を売ったとき
の利益を譲渡所得といい、
これに対して税金がかかります。
譲渡所得にかかる税金は、
長期と短期に区分され次の
方法で計算します。

〔長期譲渡所得〕
昭和四十三年以前から持
っていた土地や建物を売っ
たときの譲渡所得のことを
いい、普通の場合、百万円
の特別控除があります。

税率は、特別控除後の所
得が二十万円以下の場合
は二十パーセントです。

〔短期譲渡所得〕
昭和四十四年以降に取得
した土地や建物を売ったと
きの譲渡所得のことをいい、
長期譲渡所得のような特別
控除はありません。

税率は、最低四十パーセ
ントです。
なお、自分の住んでいる
建物やその敷地を売った場
合などには、特別控除の制
度があります。詳しいこと
は、近くの税務署か税務相
談室にご相談ください。

検察審査会制度を ご存じですか？

犯罪の被害を受けて、警
察や検察庁に訴えても取り
上げて貰えず、どうも納得
できない場合は検察審査会
に相談しましょう。

検察審査会は、選挙人名
簿をもとにして「くじ」で
選ばれた民間人の代表十一
人で構成されており、不起
訴にされた犯罪事件を調べ
なおします。そして正義の
立場から、その犯罪者を処
罰するのが当然だと判断し
たときは、検事正に、起訴
することを勧告します。

皆さんのまわりにも、検
察審査会を利用できるのに、
そのまま泣き寝入りしてい
る人はいないでしょうか。
そういう人たちにも、この
制度のことを教えてあげま
しょう。

検察審査会は裁判所の中
に事務局があつて、何時で
も親切に相談に応じてくれ
ます。手続きの費用は一切
不用です。又、申立の手続
は簡単ですが、詳細につい
ては左記にお問合せ下さい。
※965福島県郡山市麓山一
丁目二番二六号
福島地方裁判所郡山
支部内
郡山検察審査会事務局
TEL 0249 325656

マイホーム建設資金 (一般貸付)の融資

住宅金融公庫では、マイ
ホームをつくられる皆様へ
長期で低利の建設資金を融
資しています。募集期間は、
通常、春・秋と二回行って
います。その主な融資条件
を紹介いたしますので、ご
利用下さい。

一、申し込みできる方
自分が住むための住宅を
新築される方で、土地の準
備ができています。

二、融資を受けられる住宅
住宅部分が三〇平方メー
トル以上、一〇〇平方メー
トル以下の住宅。

ただし、(1)六〇歳以上の
老人 (2)心身障害者 (3)六
人以上の多数家族が同居さ
れる場合は一五〇平方メー
トル以下。

以上、三つの条件に該当
しない方で、一〇〇平方メ
ートルをこえ、一五〇平方
メートル以下の住宅を建設
しようとする方は、夏頃
募集を予定している「金利
七・五パーセントの口」で
あれば申し込みできます。

融資金額は地域により次のよ うに異なります。

●木造住宅の場合：
県庁所在の市、泉市、八
戸市(最高)三五〇万円
その他の地域(最高)
三二〇万円

●六十五歳以上の老人同居
又は身体障害者同居の場合
四〇万円の割増し融資を行
います。

●公共事業による移転者等
で、土地融資も可能な場合
は、土地資金として、最高
一〇〇万円の融資を行いま
す。

四、返済期間
木造、不燃構造十八年以
内。簡易耐火構造二十五年
以内。耐火構造三十五年以
内。
五、利率 年五・五%

不審な飲食物 は絶対「口」に しないように！

今年一月四日、東京都内
において、青酸入りコーラ
による無差別殺人事件が発
生し、その後大阪府におい
ても同種の事犯が発生、更
に二月十四日東京都内八重
洲口地下街において「青酸
入りチョコレート」が大量
に発見されるという事案が
発生しました。

これらの事故を未然に防
止するため、次のことを守
りましょう。

◎道路上、公衆電話ボック
ス、自動販売機等に放置
された飲食物は、絶対に
飲んだり、食べたりしな
いようにしましょう。

◎不審な飲食物を発見した
場合は直ちに、最寄りの
警察に連絡して下さい。

◎犯行の場所に利用されや
すい場所の管理者は常に
注意し、不審な物件を発
見したら、手を触れず直
ちに連絡してください。
白河警察署

2月の行事報告

- 1 ㊦ 二日定例町村会、新甲子温泉開発KK臨時株主総会
- 2 ㊦ 新甲子国民宿舎経営組合議員先進地視察
- 7 ㊦ 農業委員会 事務局 長会議
- 9 ㊦ 県南地区商工業振興懇談会
- 12 ㊦ 白河地方自然保護協会 役員会
- 13 ㊦ 第4回村民スキー大会
- 14 ㊦ 西白河地方森林組合通 常総会
- 15 ㊦ 保育所委員会
- 16 ㊦ 赤面山総合開発KK役員会、生活路線バス緊急対
- 17 ㊦ 白河たばこ耕作組合白河支部研修会
- 18 ㊦ 国道289号線建設基成同盟会総会
- 19 ㊦ 国保運営委員会
- 21 ㊦ 農業者年金会議所設立準備会
- 23 ㊦ 県町村定期総会、51年度統計協会総会
- 25 ㊦ 交通安全白河地方県民会議、社会教育視聴覚教育研究会
- 26 ㊦ 熊倉婦人会総会、
- 27 ㊦ 養護学校学習発表会 西郷南部猟友会、米婦人会総会
- 28 ㊦ 県総合緑化センター総

